

のり海況速報 第10報 (27-10)

平成28年 2月 5日発行
千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 2/3：内湾(ふさなみ)、2/1：内房北部(ふさみ丸)
関東・東海海況速報(1/25-2/5)、東京湾口海況図(1/25-2/5)
自動観測ブイデータ(1/25-2/5)、拓南観測データ(2/3)
モニタリングポスト(2/3：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温は前回(1/21)よりさらに約1℃下がり、9～11℃台になっています。塩分は31～32台で、平年並みからやや高めでした(図1)。
- ・内房北部の表層水温は12～15℃台で、浦賀水道航路付近では今月になって流入している沖合水の影響によって15℃台になっています。
- ・内房北部の調査ラインの水温・塩分の鉛直分布でも、浦賀水道航路付近の表層から底層まで水温15℃以上、塩分34以上の水塊が流入していますので、この動きには注意が必要です(図2)。

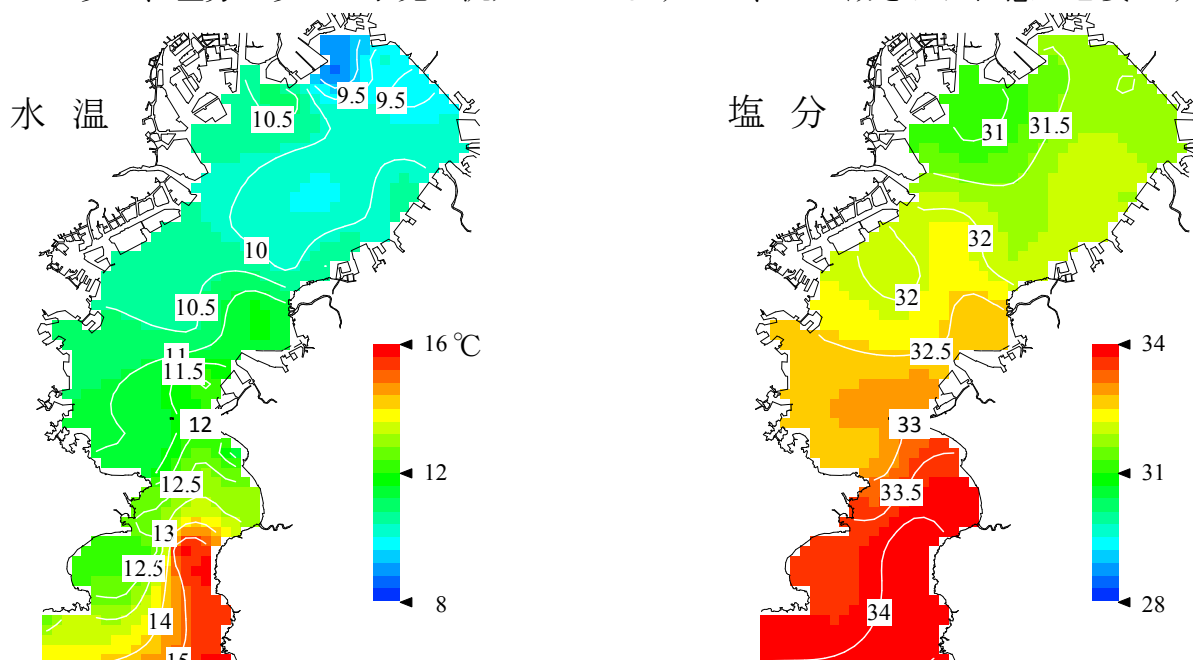


図1 表層の水温・塩分の分布(平成28年 2月 1- 3日)

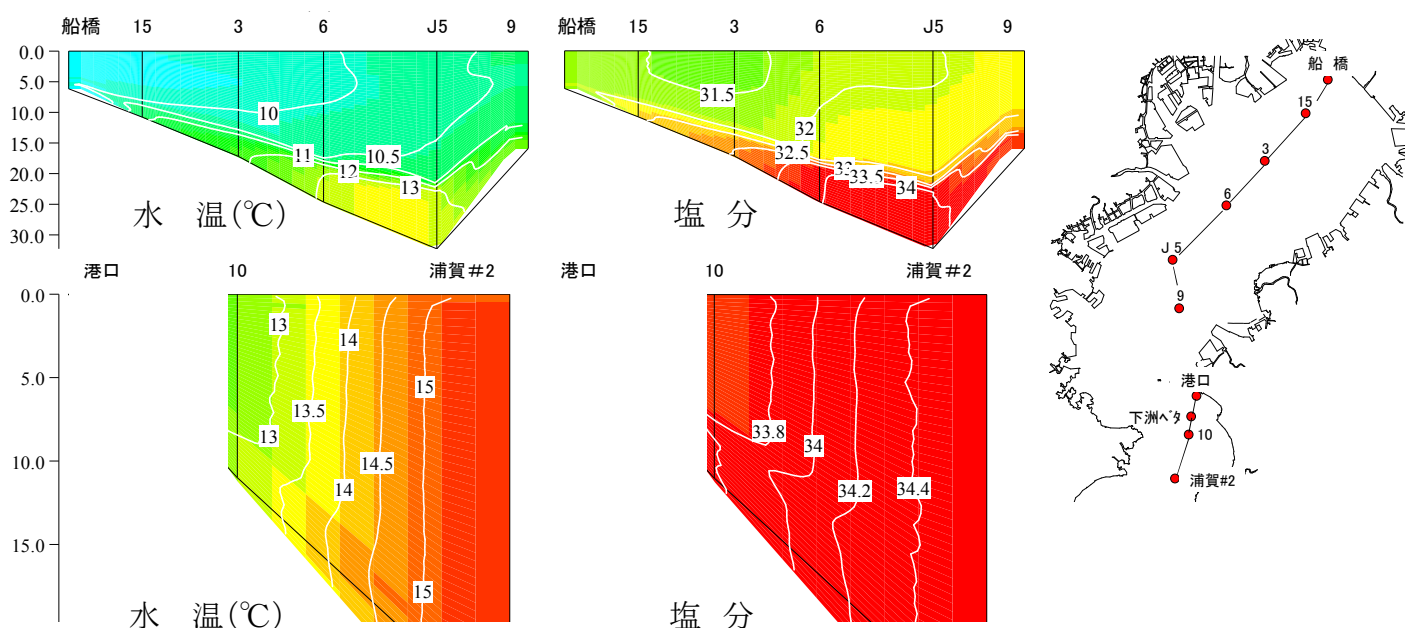


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成28年 2月 1- 3日)
(上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- ・赤潮は船橋から千葉にかけての沿岸で発生し、pH8.4～8.5、透明度2m台で、水色はやや褐色を呈していました。
- ・優占種はケイ藻のスケルトネマで、タラシオシラやキートケロスもやや多くみられました。
- ・表層の栄養塩(図3)はリン(D I P)が前回(1/21-22)よりさらに少なくなり、アクアライン以北の千葉県側ではノリの色調低下が懸念されるまで減少していますので、この動きには注意が必要です。

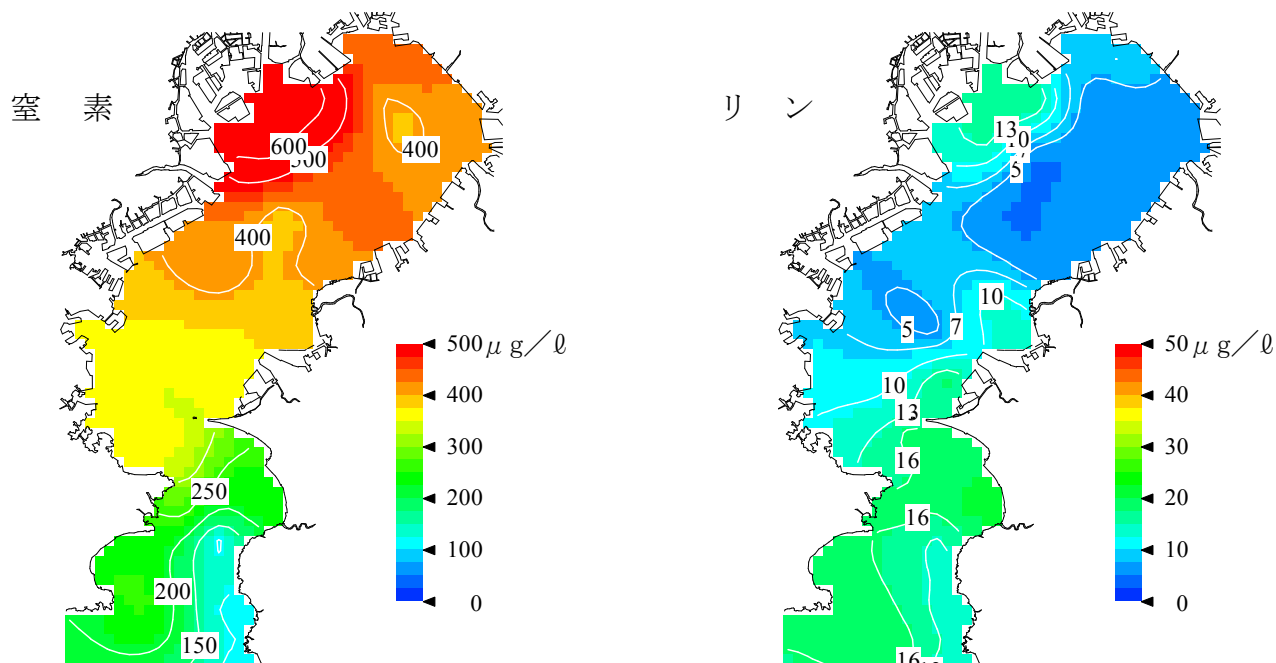


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成28年 2月 1- 3日)

ノリ養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各ノリ養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”ノリ養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html